

平成28年度医学部医学科入学者選抜

【学士入学（3年次編入学）】

第1次選抜試験問題

外国語（英語）

注 意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけません。
- 2 問題紙は10枚です。指示があってから確認してください。
- 3 解答はすべて解答用紙の所定のところに記入してください。
- 4 問題紙は持ち帰ってください。

①

平成28年度入学者選抜
【学士入学（3年次編入学）】
外国語（英語）

試験問題訂正

問題訂正

外国語（英語）

4ページ 設問5 の) 中 1行目

(誤) 「 Figure 1 の図について以下の 」

(正) 「 Figure 1 の図について、本文を読んで以下の 」

②

平成28年度入学者選抜

【学士入学（3年次編入学）】

外国語（英語）

試験問題訂正

問題訂正

外国語（英語）

5ページ 問題2 の) 中 下から12行目

(誤) 「 hypothalamic-pituitaryadrenal 」

(正) 「 hypothalamic-pituitary adrenal 」

スペース

③

平成28年度入学者選抜
【学士入学（3年次編入学）】
外国語（英語）

試験問題訂正

問題訂正

外国語（英語）

9ページ 問5 の) 中 行目

(誤) 「 下線部④は内容を 」

(正) 「 下線部④の内容を 」

④

平成28年度入学者選抜
【学士入学（3年次編入学）】
外国語（英語）

試験問題訂正

問題訂正

外国語（英語）

9ページ 問6 の) 中

(誤) 「 下線部⑤何について 」

(正) 「 下線部⑤は何について 」

⑤

平成28年度入学者選抜

【学士入学（3年次編入学）】

外国語（英語）

試験問題訂正

問題訂正

外国語（英語）

3ページ の 4行目

(誤) 「 diseasea 」
ハイフン

(正) 「 diseasea 」
ダッシュ

問題1 以下の英文を読んで設問1) -5) に答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

Robert N. Proctor

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

Paula Pisani et al.

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(Julie Parsonnet: *Microbes and Malignancy*, OXFORD UNIVERSITY PRESS1999 より改変)

prima facie^{*1}: 明白な、blip^{*2}: 急上昇(レーダー画面の光点)、vigilant^{*3}: 用心深い、overlook^{*4}: 見落とす、見逃す、blinkered^{*5}: 色つき眼鏡の、偏狭な、*Helicobacter pylori*^{*6}: ヘリコバクター・ピロリ菌、panoply^{*7}: 揃い、etiology^{*8}: 病因、fraught with^{*9}: full of の意味

設問 1) 括弧内 (A)~(C) の it、(D) の doing so、(E) の these microbial pathogens はそれぞれ何を指しているか。英(単)語で答えなさい。

設問 2) 下線部②を和訳しなさい。

設問 3) 下線部③ These outbreaks rarely prove to be anything but the statistically expected blips within populations. と同内容の文章を、(A)~(E) から 2 つ選べ。

- (A) It was shown that these outbreaks were settled down as expected.
- (B) We can always count for epidemical increase of such cancers within populations.
- (C) Prevalence of these cancers among people is nothing more than an expectation.
- (D) It is very difficult to think that these outbreaks have statistical significance.
- (E) These outbreaks are invariably responsible for creating certain numbers of patients.

設問 4) 下線部④を和訳しなさい。

設問 5) Figure 1 の図について以下の問いに英語で答えなさい。

- (A) Cervix の腫瘍の原因として最も多い病原体名を答えよ。
- (B) 黒い部分の全体 (黒と白を足した部分) に占める割合(%)を答えよ。
- (C) 図より観察できる、Developed country と Developing country の間に認める cancer case 全体に関する違いについて 2 行で説明せよ。

問題2 以下の英文を読んで設問1)～5) について答えなさい

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

設問 1) 最近の西洋的食生活の問題点を、本文にそって日本語で説明しなさい。

設問 2) 下線部(a)を日本語に直しなさい。

設問 3) 下線部(b)の具体的内容を、本文にそって日本語で説明しなさい。

設問 4) 下線部(c)を日本語に直しなさい。

設問 5) 空所 (A) ~ (E) に入る最も適当な語を、次のア) ~ オ) の選択肢から選んで記号で答えなさい。(同じ語の選択可)

ア to イ in ウ with エ on オ of

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

出典

The New York Times

There's Cancer In My Future. How Am I Supposed to Feel?

By DARLENA CUNHA date published OCTOBER 19, 2014

より改変引用

【問1】 文中の (a)(b)(c)内に、文意より適切な数字を入れなさい。

【問2】 下線部①について具体的に何を命じているのかその理由を含めて説明しなさい。

【問3】 下線部②の内容を説明しなさい。

【問4】 下線部③を和訳しなさい。

【問5】 下線部④は内容を説明しなさい。

【問6】 下線部⑤何について述べているのか答えなさい。

問題4 (1)については下線部を、(2)、(3)については全文を英語で書きなさい。

(1) 小説家や作家としても活躍しているスタンフォード大学の Abraham Verghese 教授は、現代の医学は、医師が患者に実際に手で触れて診察するという伝統的かつ重要な診断の手法を失いつつある危機に直面していると考え、次のように述べている。「私はいまだに、病院に入院している患者を理解する最善の方法は、コンピュータのスクリーンをじっと見るのではなく、実際に患者を診ることであると考えている。ベッドサイドにおいてのみ、私は重要なことを理解できるのである。」

(2) ビタミン E の摂取は、2 型糖尿病のリスクの軽減と顕著な関連性があった。ビタミン C と2型糖尿病のリスクの間には明確な関連性は見い出されなかった。こうした結果は、2 型糖尿病の進行が食事における抗酸化物質の摂取によって軽減されるという仮説を支持するものである。

注： 2 型糖尿病 = type 2 diabetes 抗酸化物質 = antioxidant

(3) 認知症とは、脳に影響を及ぼす特定の病気によって精神的な機能が進行性で失われることである。認知症の人が自分の精神的な能力が低下していると分かると、しばしば傷つきやすく、安心や支援が必要だと感じるものである。患者に最も近い人たちは、その患者の自己同一性意識や自尊感情を保持できるよう、できることは全てしてあげる必要がある。